

オアシス21認知症専門棟

症 例 概 要 認知症専門棟 K・I様 女性 85歳 要介護4

病名：脳出血、認知症、高血圧症、慢性気管支炎、

乾皮症性皮膚掻痒、慢性疼痛症

平成29年4月からの入所利用

内 容

入所時より、感情面の起伏があり「もう食べれない!いらぬ!」「起きたくない!」など、食事拒否や離床拒否が多く見られていました。さらに、帰宅願望も常に強くあり、常に興奮や混乱が見られていました。

8月になり、さらに不穏状態が強くなりましたが、その頃2階フロア（一般棟）にご本人の夫がショートステイ利用を開始。ご主人との面会の時間を多くつくり、その度にI様の表情も柔らかくなり、安心感を感じられるようになっていました。面会後もしばらくは穏やかに過ごされる姿が見られたところ、ご主人だけでなく、他のご家族と一緒に過ごせる時間をつくりたい。と職員から提案。他の職員からも「本人だけでなく、ご家族の思い出の一日となるような日をつくりたい」「I様が安らげる時間・空間をつくりたい」との意見が多く出てきました。

ファミリーファーストを通じて日常の様子をご家族に伝えていますが、この提案をご家族にしたところ、「家族全員が集まり過ごすことはもうないかもしれない。」との言葉が聞かれました。そこで、新年の節目にご家族がそろって過ごせる時間をつくり、思い出の一日を提供する《I様一家の新年会》を企画しました。

新年会では、本人の大好きなお寿司を家族全員で召し上がっていただくだけでなく、事前に娘様にお願いし、ご家族6人全員が集まり記念撮影と写真のプレゼントをさせていただきました。また、家族が水入らずで過ごせる時間と場所の提供として家族介護教室を提供。新年らしい飾り付けも行いました。実施後、ご本人からは笑顔で「ありがとうございます。」との言葉も聞かれました。

ご家族からは、久々の一家団欒に「家族みんなが集まって新年を過ごすことはもう出来ないと思っていました。いい思い出になりました」との言葉をいただき、ご主人からも「介護施設でこんなことをしてもらえるととは思っていませんでした。本当にありがとうございます。」とお話も頂いています。また、今回の企画で、ショートステイ利用のご主人は年越しをオアシスで過ごしていただき、年末年始の稼働アップにもつながっています。

今回のI様の新年会は、1人の職員の提案に多くの職員が共感して取り組み、結果としてご本人には輝きの一日を、ご家族には安心を超える感動を感じていただきました。以上のことからキラキラ介護賞に推薦いたします。